

事前評価個表

整理番号	19
------	----

地域（地区）名	高知	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	高知県	対象市町村	高知市ほか3市
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	本地区は、北東部を徳島県と接する高知県の中央東部に位置し、北部には三嶺(1,894m)、石立山(1,708m)、綱附森(1,643m)等の高峰群が連なり、急峻な地形を成している。 主な水系はいずれも高知平野に注ぐ鏡川、物部川である。鏡川水系には鏡ダム、物部川水系には永瀬ダム等があり、豊富な水資源は本県の生活・産業に大きく寄与している。 本地区の森林面積は78千ha(森林率71%)、民有林面積は63千ha(森林全体の81%)であり、このうち人工林面積は41千ha(人工林率65%)で、8齢級以上の人工林の面積が39千ha(95%)を占め、本格的な収穫期を迎えている。 これらの背景から、本地区では今後、森林資源の有効活用のための主伐・間伐や主伐後の再造林、保育間伐等をバランス良く実施し、水源涵養や土砂流出防止等の森林の有する公益的機能の高度な発揮を確保していく「健全な森づくり」を推進する必要がある。 本地区では、各市町村が策定した森林整備計画により、水源涵養や自然環境に配慮した森林整備を推進している。また、森林資源の適正管理、有効利用の観点から、森林経営計画の策定エリア拡大を推進し、施業地の集約化を進め、高性能林業機械等による生産性の向上を図り、生産コスト縮減及び間伐材等の有効利用拡大を目指している。 本事業では、効率的な森林施業の実施に不可欠な路網整備と、森林経営計画等に基づく保育間伐・搬出間伐・再造林等の森林整備を実施する。
事業内容・事業費	森林整備：2,101ha 人工造林、下刈、保育間伐、間伐等 路網整備：6,893m 林道開設 総事業費：3,783,321千円(税抜き 3,439,383千円)
費用便益分析結果	$B/C=2.37$ (総便益(B)=14,907,171千円、総費用(C)=6,302,514千円)

評価結果	必要性： 人工林面積のうち、8 齢級以上の林分が95%を占め、森林の有する公益的機能の高度な発揮のため、今後主伐施業が進んだ後、伐採跡地への再造林が求められており、事業の必要性が認められる。 効率性： 本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産性の向上が図られるとともに、費用便益分析結果からも事業の効率性が認められる。 有効性： 森林施業の機械化に必要な既設林道等の活用、森林作業道整備等、効率的な路網整備を進め森林資源の有効利用を促すとともに、主伐後の再造林、保育間伐等を実施し、森林の有する公益的機能の発揮を目指していることから、事業の有効性が認められる。
-------------	---

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：高知県

地域（地区）名：高知

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,537,023	
	流域貯水便益	806,401	
	水質浄化便益	2,547,883	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,931,826	
環境保全便益	炭素固定便益	1,000,179	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	3,291	
	木材生産確保・増進便益	962,518	
森林整備経費縮減便益	森林整備促進便益	4,118,050	
総 便 益 (B)		14,907,171	
総 費 用 (C)		6,302,514	
費用便益比	$B \div C = \frac{14,907,171}{6,302,514} = 2.37$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{15,146,200}{6,574,296} = 2.30$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{18,817,771}{6,764,633} = 2.78$		

森林環境保全整備事業 高知地域(高知県) 森林整備位置図

